



たばたあずみ

Tel・Fax
550-6674



山根とみえ

Tel・Fax
550-4224



戸沢ひろゆき

Tel・Fax
558-9721

3月市議会

戸沢ひろゆき議員の一般質問

3月定例市議会において戸沢ひろゆき議員は、8年間の市長の実績について質問を行いました。他に、市民の定住政策について問題点を提起しました。質問と回答の要旨をお知らせします。

8年間の市長の実績について

質問

10月で市長の任期4年が終了する。実績として主張できる成果はなにか。

回答

8年前市長に就任して以来「行政改革」の断行、合併後の理想像として「人と緑の新創造都市」を協働の力ですすめる、という2つの目標を目指してきた。市民の皆さんと職員が頑張ってくれた。

質問

笑 婦 婦

回答

行政運営も市民生活も決して楽ではなかった。20年を経て「人と緑の新創造都市構想」が定着出来たと思っている。地域資源を生かした持続可能なまちを歩んでいけると思う。

開発優先の市政運営について

質問

あきる野市になり合併特例債は132億4050万円を借りました。60%を交付税で手当された残金54億5315万5811円を、平成33年までに償還しなければなりません。秋川駅下りホーム側の土地を2億276万9807円で、菅生S1地区（ダイヤハツに貸している）を10億3181万4494円で、S2地区もテクノヒルズとして土地開発公社に購入させました。現在は東海大学「学びの城」となり市税は入りません。菅生の一番奥（S5）大沢も8億3538万6238円で購入させ、S2地区から出た残土をダンプ2万台も投棄。

土地開発公社を解散させるため、6年前に合計約31億円の借金をして市が買い戻し、さらに新年度に17億9千万円の第三セクター等改革推進債を借りてすべての土地を買取ります。

こうしたバブルに踊った開発優先市政の破綻により、将来負担率は26市で最悪になりました。財政的な見通しはあるのでしょうか。

回答

最良の方法だったかどうかは歴史的に誰かが判断するだろう。人口減を抑え、雇用促進の施策などを展開していく。

戸沢議員は、「入りをはかりていずるを制す」と12月議会で市長が発言しましたが、市の財政運営は間違いが多かったと指摘しました。



あきる野市の定住政策について

質問

あきる野市の人口は前年度と比べると230人の減となっています。地方自治体の本目に基づき暮らしと福祉の充実に取り組むことが定住政策の基本だと5つの課題の提起を行いました。

- ① 五日市線の昼間のダイヤ9本の減便への対処
- ② 五日市線の通学利用者減少への対処
- ③ 高齢者が元気で住み続けられるまちをつくる
めざせ健康21事業やリズム体操の充実、いきいきセンターの充実
- ④ 地域で見守り活動をするための「共助」の地域センター設立を
- ⑤ 子育て世代があきる野市に住み続けたいと感じる施策の展開を求めました

回答

今後も努力して住みやすい福祉の充実に努め、定住につなげていきたい。

——法律相談——

2015年4月21日(火) 午後1時半～3時

弁護士との関係で、市議団に予約が必要です。